

日本禁煙科学学会学会賞 及び 禁煙教育推進賞を受賞

第17回日本禁煙科学学会学術総会が10月15、16日に完全WEB方式で開催され、最も栄誉ある今年度の「学会賞」が岩城名誉理事長に贈呈され、又、禁煙ねっと石川の禁煙教育に於ける活動に「禁煙教育推進賞」が贈られました。

両賞は日本禁煙科学学会が日本の禁煙推進に資することを目的に、禁煙普及や支援活動を行っている個人や団体に対し、その功績を顕彰して毎年1名(団体)を選考し、贈られる大変栄誉な賞です。



岩城名誉理事長は、日本臨床内科医会常任理事として禁煙部会を結成して日本の禁煙界をリードし、2000年に石川県に医療関係者等を中心に、禁煙支援、受動喫煙防止への活動の礎となる団体を立上げ、その後2009年に任意団体をNPO法人に創立し、多方面における活動を通して健康的な社会、きれいな空気のまちづくりの推進に尽力して来られました。

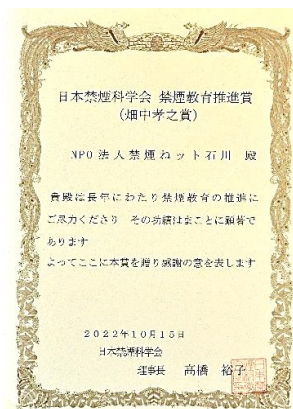
NPO法人禁煙ねっと石川は、行政や各種団体、施設等への提案や支援協力等、禁煙社会の推進に向けた諸活動と共に、次世代を担う子供達をタバコの害から守る為、2001年から小学校で喫煙の害に付いて教育を行い、8年後の20才でその効果を確認する為、2009年より毎年の成人式で、喫煙状況や喫煙意識のアンケート調査を行って来ました。

この調査により、20才での喫煙率は教育実施校、非実施校の出身校により相対的に顕著な差が認められ、未成年の青少年をはじめ成人の喫煙率低下に対し、小学校での教育の有効性が確認されています。

この調査経過は禁煙教育の推進の為、遠藤理事長より国内外に向けて発信されてきました。



日本禁煙科学学会 学会賞



禁煙教育推進賞